

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2011.8.1

下水道機構の『新技術情報』 第7号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.iwet.or.jp/>

◇-----◇

猛暑の夏はどこへ行ってしまったのでしょうか。雨上がりの東京は肌寒い 8 月のスタートとなりました。暑かったり肌寒かったりと体調も崩しやすくなりますので、皆様も体調管理にはお気をつけください。また、先日の新潟・福島豪雨の被害に遭われました皆様に心よりよりお見舞い申し上げます。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第7号をお届けします。

～トピックス～

☆インフォメーション

- ・『下水道展'11東京』が閉幕しました
- ・長野県主催の生活廃水に係わる相談"七夕キャラバン"が、今年も7月5日から7月25日の間、県の広域別に10箇所の会場（各地方合同庁舎）で開催されました。
- ・平成23年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業として、「下水灰の肥料用原料化技術の開発研究」が始まりました！
- ・研究第二部の職員の異動がありました

☆機構の動き

- ・今週は第1回技術委員会が開催されます。  
(主な議題：継続案件5件、新規案件2件の合計7件)

☆Tea Break

- ・夏本番 —暑さ対策— (資源循環研究部 枋岡さんの投稿です)

☆みなさまからのコラム

- ・皆様からの情報を募集しています！

☆国からの情報

・7月29日付けの下水道ホットインフォメーションです

.....  
インフォメーション (最新の話です)  
.....

○下水道展'11東京(7月26日～29日)が開催されました

下水道展下水道展'11東京が7月26日～29日の4日間開催されました。

初日の出足はまずまずといった感じでしたが、2日目以降は連日2万人を超える来場者をお迎えし大盛況となりました。

当機構のブースでは、審査証明を交付した技術紹介や震災関連(機構の調査・支援活動、公衆衛生の確保、全面的な液状化による被害調査、地震対策技術の導入支援、エネルギー対策の導入支援)などパネル展示や液晶ディスプレイで紹介、図書・パンフレット等の配布を行いました、用意した配付資料の在庫がなくなるなど多くの皆様にお立ち寄りいただきました。技術相談コーナーではた59件の技術相談をいただきました。また、下水道展ではお子様向けのクイズラリーが開催されましたが、当機構ブースでもクイズを出題し、ブース前は親子連れの皆様で終始賑やかでした。

他の出展ブースでは、デモンストレーションなどを通して、普段目にするのでできない下水道の最新技術を目の当たりし、何気ない私たちの暮らしの地下で、下水道技術はまさに日本を下から支えているのだと実感しました。

下水道業界の方だけでなく、お子様から、一般の方、学生の方まで幅広く楽しめる趣向を凝らしたイベントになっていますので、今回はご来場できなかった方も来年は是非、ご来場ください。当機構のブースにてお待ちしております。

○長野県主催の生活廃水に係わる相談"七夕キャラバン"が、今年も7月5日から7月25日の間、県の広域別に10箇所の会場(各地方合同庁舎)で開催されました。

七夕キャラバンには、県の生活排水課をはじめ、下水道公社、土地改良事業団体連合、日本下水道事業団および当機構が参加し、市町村からの寄せられた相談に対して、各団体が応対するというスタイルをとっています。

今回、機構では、7会場に参加し多くの自治体より相談を受けました。相談内容としては、「長寿命化計画策定」や「し尿や浄化槽汚泥の受入れ」、「汚泥の減量化・資源化」に関するものが多く、このほか、「分流式下水道における雨天時侵入水対策」や「下水道BCP策定」、「ディスポーザー導入」に関するものなど、様々な相談が寄せられました。機構といたしましては、自治体の抱える課題を解決すべく、今後も七夕キャラバンのような自治体との交流の場に積極的に参加していきたいと考えております。

○下水道機構を代表機関として、9機関で今年度から3年間の予定で「下水灰の肥料用原料化技術の開発研究」が始まりました。

以前、メルマガ第2号にてお伝えしましたが、平成23年度新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業として、「下水灰の肥料用原料化技術の開発研究」が選定されました。研究の目的は、国民の食生活を通じて下水道に集約されるリン資源としての「下水灰」の肥料用原料化技術を開発して、国内のリン資源を確保することにあります。これにより、日本の安定的な食糧確保に貢献することができます。

その第1回研究推進会議が7月8日（金）の午後下水道機構の会議室にて出席総数28名のキックオフミーティングを実施しました。研究開発の趣旨や目的を全員で共有し、各研究機関からは研究概要の説明をしていただきました。会議の後の意見交流会も色々なディスカッションで大いに盛り上がりました。いよいよ、実際の下水灰を用いた具体的な研究が各機関で実施されます。その成果の情報交換を第2回研究推進会議として秋に盛岡で実施する計画になっています。これからも、下水道新技術推進機構は、本分野の先導役として貢献していきたいと思えます。

本研究の概要が農林水産省のHPに掲載されましたので、そちらも合わせてご確認くださいと思います。

【研究概要等掲載 HP アドレス】

[http://www.s.affrc.go.jp/docs/research\\_fund/2011/sinkikadai\\_2011.htm](http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_fund/2011/sinkikadai_2011.htm)

\*課題番号は「23012」です。

○下水道機構人事異動情報

東京都から派遣されていた研究第二部長の坂根良平さんが7月31日付けで当機構を退職され、下水道局中部下水道事務所長として東京都に戻られることとなりました。後任には、東京都下水道局施設管理部管路管理課長の池田匡隆さんが下水道局担当部長に昇任され、8月1日付けで当機構の研究第二部長に着任されました。

坂根部長は、平成22年7月16日から約1年という比較的短い着任期間でしたが、民間との共同研究では、主に「プラスチック製雨水貯留浸透施設」「プレキャスト式雨水地下貯留施設」「下水処理場施設の合成木材製覆蓋更新」「リアルタイム雨水情報ネットワーク技術」に取り組み、技術マニュアル等の成果をまとめてこられました。昨今では、東日本大震災で下水道に大きな被害をもたらした液状化現象の調査に奔走され、今後の地震対策についての礎を築かれました。今後は東京都での一層のご活躍を期待したいと思います。また、後任の池田部長のご紹介は次号で行いたいと思います。当機構の新体制をよろしくお願いたします。

---

機構の動き （機構の行事予定です）

---

◎8月5日(金)第1回技術委員会 14:30～17:00(機構特別会議室)

(主な議題：継続案件5件、新規案件2件の合計7件)

継続案件

1. 「川崎市等々力水処理センター 高度処理技術（担体利用酸素循環式硝化脱窒法+脱窒ろ過法）に関する評価
2. 「小規模用下水汚泥の燃料化システムに関する共同研究」
3. 「セラミック平膜を用いた膜分離活性汚泥法に関する共同研究」
4. 「衝撃弾性波法による管路診断に関する共同研究」
5. 「リスク管理を考慮した監視システムに関する共同研究」

新規案件

1. 「自然吐口に適用可能な新たな合流改善技術の開発」
2. 「最新汚泥焼却炉の N<sub>2</sub>O 排出量に関する共同研究」

---

Tea Break （機構職員の感じるまま）

---

○夏本番 —暑さ対策— （資源循環研究部 枋岡）

資源循環研究部の枋岡（とちおか）と申します。今年の4月から当機構で働くことになり、早4か月が経ちました。たった4か月と感じますが、我が家では、私の職場変更、第一子の入園、第二子の誕生し、新鮮かつ濃厚な日々を送っております。

さて、いよいよ夏本番を迎えました。梅雨が例年より早く明けたこともあり、例年以上に暑く感じます。そして、大震災の影響もあり【節電】、省エネを考慮した【暑さ対策】が求められています。我が家では、節電・暑さ対策として(1)扇風機とエアコンの併用運転、(2)チャイルドシート（車載）に冷却ジェルを使用しています。特に小さい子供がいる我が家にとっては、(2)は必須アイテムであり、最も活躍している暑さ対策グッズです。暑さ対策グッズは、マスコミなどの影響もあり、今や一大ブームとなっています。（もともとは、一人ひとりの節電に対する意識が生みだしたブームだと思いますが・・・）節電、省エネはとても大事なことです。身体を壊しては、元も子もありませんので、身体を第一に考えたうえで、節電、そして暑さ対策グッズを取り入れてみてはどうでしょうか。そして、有用な方法がありましたら、ぜひ、ご教授願います。我が家にも採用したいので！！私は、ステテコパンツを近々入手する予定です。

---

みなさまのコラム（皆様からお寄せいただいた情報です）

---

○掲載情報募集中！

機構の新技术情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※原則 400 字以内。なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としていますが、掲載の可否は当機構にて判断させていただきます。

---

下水道ホットインフォメーション（2011.7.29 付、国からの最新情報です）

送信元： 国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課企画専門官 石井宏幸

---

来週 1 週間、宮城に出張ですので、少し早めの配信です。

今週は 15 日付で着任された那須調整官からのメッセージです。

=====

国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付流域下水道計画調整官の那須です。前職が浜松市上下水道部参与ですから、随分長い名前の職場になったなあと感慨深いものがあります。感慨深いと言えば、全国津々浦々の下水道関係者へホットな情報を届けているホットインフォメーションに名前が載る日が来ることも非常に感慨深いですね。この場を借りまして、「浜松市のみなさん、その節は大変お世話になりました！」

さて、7月15日からの仕事としては、流総計画だけでなく、放射能汚泥対策や合流改善対策、高度処理、再生水、水質規制など、多方面にわたっています。詳細はこれからひとつひとつ勉強していかなければなりません、関係する皆さまにご協力いただきながら進めていく仕事ばかりだと思いますので、浅学非才の身ではありますが、ご助力をどうかよろしく願いいたします。

=====

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○今後の汚水処理のあり方有識者等委員会の開催【下水道事業課】

●中国南部の水環境問題の現状と展望に関するセミナーのご案内【京都大学】

=====

○今後の汚水処理のあり方有識者等委員会の開催【下水道事業課】

汚水処理に関係する 3 省（国土交通省、農林水産省、環境省）による「今後の汚水処理のあり方に

関する検討会「有識者等委員会」第6回を開催します。

日時 平成23年7月29日(金) 18:00~20:00

場所 国土交通省 幹部会議室(中央合同庁舎3号館4階)

主な議事内容(予定) 「今後の汚水処理のあり方について」

[http://www.mlit.go.jp/report/press/city13\\_hh\\_000135.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/city13_hh_000135.html)

これまでの検討状況については下記URLをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/crd/crd\\_sewerage\\_tk\\_000115.html](http://www.mlit.go.jp/crd/crd_sewerage_tk_000115.html)

●中国南部の水環境問題の現状と展望に関するセミナーのご案内【京都大学】

寄附企業28社のご支援により2005年10月に開設された「京都大学-清華大学環境技術共同研究・教育センター」の最新の活動内容と成果を報告するとともに、新たに連携が確立された現地関係機関から情報提供戴き、センターおよび関係各位の更なる連携強化を目的として、下記のとおりセミナーを開催します。

2011年8月23日(火)

13:00~18:00(セミナー:桂キャンパスC-191)

18:30~20:30(懇親会:ラ・コリーヌ)

参加を希望される方は、下記までご連絡願います。

申込期限 2011年8月10日

連絡先 京都大学大学院 水野忠雄

Tel:075-383-3339, Fax:075-383-3338

E-mail:m.yasojima@aw8.ecs.kyoto-u.ac.jp

=====

【参考情報】

◆TOTO、中国・大連市で節水設備によるCO2排出削減の実現可能性調査を実施  
<7/22 EIC ネット> <http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=25486&oversea=0>

◆セシウム汚泥受け入れ調整難航県、保管費請求も/茨城 <7/22 茨城新聞>  
[http://ibarakinews.jp/news/news.php?f\\_jun=13112573370357](http://ibarakinews.jp/news/news.php?f_jun=13112573370357)

◆打ち水で節電PR、天神13か所一斉に <7/22 読売新聞>  
<http://kyushu.yomiuri.co.jp/news/national/20110722-OYS1T00188.htm>

◆放射性セシウム、汚泥から検出—中野の下水処理施設／長野 <7/22 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/nagano/news/20110722ddlk20040039000c.html>

◆処理場で放射性物質検出から2ヵ月下水汚泥の処分できず <7/24 河北新報>

<http://www.kahoku.co.jp/news/2011/07/20110724t65008.htm>

◆汚染焼却灰、たまる一方自治体「早く基準を」／長野 <7/24 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/nagano/20110724/CK2011072402000107.html>

◆多摩川アユを名産に、遡上稚魚増加で商品化／川崎 <7/24 神奈川新聞>

<http://news.kanaloco.jp/localnews/article/1107240005/>

◆下水道の汚泥 経費増に苦しむ大分市 <7/27 大分合同新聞>

[http://www.oita-press.co.jp/localNews/2011\\_131172934697.html](http://www.oita-press.co.jp/localNews/2011_131172934697.html)

◆<韓国集中豪雨> 41人の死者、12人の行方不明者 <7/28 中央日報>

<http://japanese.joins.com/article/258/142258.html?servcode=400&sectcode=400>

◆下水道事業の手引 平成23年版 好評発売中

[http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post\\_34.html](http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/info/2011/06/post_34.html)

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方は

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせは

こちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○●●○○